

議会モニター会議（R7.2.4）での意見等

I 議会だよりについて

NO.	内 容	回 答
1	インターネットを利用していないので紙ベースの広報はアナログな人間には助かる。文書は長い。町の広報と一緒にファイルしにくい。	デジタル社会になっても広報紙は必要なものと捉えております。町の広報しずくいしと同じ右開きの作りをしておりますが、印刷業者とも相談のうえ、両紙とも綴りやすくできるように相談してまいります。
2	穴が空いていない議会だよりがある。	区長配布により他のチラシなどのお知らせが挟まれている場合があります。議会だより自体には必ず綴り用の穴を開けておりますのでご確認ください。
3	文字サイズは老眼鏡つけないと見えない。若者はいいと思うが。金額的制限もあって文字はどんどん小さくなるか。	情報も多く紙面構成の都合で文字が小さくなってしまいうこともありますが、できるだけ情報をコンパクトにまとめつつ、誰にでも見やすい紙面構成を目指します。
4	議会だよりがコンクールで入賞されたのは非常に良い。	令和6年度岩手県町村議会議長会主催の広報コンクールで第131号が特選を受賞しました。引き続き皆様に親しまれる紙面構成に努めます。
5	表紙の兄弟シリーズを探すのは大変でないか。	「Voice」や「雫石によろこそ」、表紙の被写体探しは議員たちが取り組んでいます。ご心配されているとおりに毎回取材をお受けいただける方を見つけることに苦慮していますが、新たなシリーズ展開も含め皆さんに感心を持ってもらえる紙面デザインに努めます。
6	広報広聴常任委員会が編集している議会だよりは年何回発行しているか。編集に手間がかかっていると思う。	定例会が終わったあとに広報広聴常任委員会が主体となり編集作業を行い、年4回発行しています。他の委員会にも所属していますので多忙となります。
7	以前のVoiceは、テーマを決めて取材していたと思ったが、「町への要望」とか別のテーマにして取材してはどうか。一般質問の内容は、傍聴に行って直接聞かないと紙面ではわからない部分もある。	Voiceの現在のテーマは「雫石の宝物」としています。このテーマに変更して数年経過していることから委員会内でも検討項目としていましたので、いただいたご意見も参考にさせていただきます。一般質問について限られた紙面の中で表現していることからかなり集約しています。ぜひ傍聴にお越しください。
8	各委員会報告、視察に行って学んだ内容をHPに情報提示できないか。	各議員が視察研修後10日以内に議長に対し報告書を提出しています。HPでの公表はしておりませんが、学んできた内容は一般質問や特別委員会において質疑を投げかけ、本町行政に取り組むべき課題など問題提起しています。

Ⅱ 議会ホームページ・議会中継について

NO.	内 容	回 答
9	以前からも提言しているが、議会独自のHPは作れないか。 議会報告会の内容は議会だよりに詳細は載っていない。HPには項目だけでも早くアップを。議会や当局からの回答などは後でもいいので早めにアップしてほしい。	議会独自のHPは経費等の点で難しいと考えておりますが、より見やすいホームページになるよう引き続き検討していきます。また、町民との懇談会「議会報告会」ですが、現在広報広聴常任委員会で取りまとめ中です。確定次第、HPに情報を掲載していく予定ですので今しばらくお待ちください。

Ⅲ 議会運営全般について

NO.	内 容	回 答
10	議会報告会に出席したが多くの意見が出ていた。以前は行政区など団体との懇談会があったが呼びかけているか。	過去には各地域公民館に出向き報告会を開催していた経緯があります。しかしながら参加者が少ないこともあり、年1会場で全体での報告会を開催しているものです。町内の各種団体との懇談は随時受け付けており、今年度は町消防団幹部、町社会福祉協議会との懇談を実施済みです。区長会議や町HPでも呼びかけているところです。
11	議会報告会の参加者は少なかった。参加者数が少ないことの因果関係はないと思うが、今回12月開催だったのはなぜか。	開催日については、昨年の報告会で「他行事と重ならないよう配慮を」との意見を受け、11月中の開催を試みましたがどうしても他行事と重複することから今回の日程になってしまったものです。町への提言・意見がかなりの数であったと認識しています。当局に対し繋げてまいります。
12	議会報告会への参加者は1人1問は発言した。長々と話す人いたが、良い提案、意見、要望が出た。町に対する意見が多かった。	一般質問については議員個々の考えもあり強制はできませんが、町行政の発展、議会活性化には欠かせないものと考えております。
13	議員の一般質問の回数を数えたが、昨年9月は極端に少なかった。内容もさることながら。議長から指導してもらいたい。内容もレベルアップした方がいい。	模擬議会などの開催検討はしております。町当局や各団体との協力体制を築きながら進めることが大事と考えております。引き続き開催に向け検討を重ねてまいります。
14	子供議会、青年議会、婦人議会を開催しては。	視察研修や先進地事例調査については各委員会において事務局の協力を得ながら雫石町の課題と照らし合わせ、先進的に取り組んでいる全国の自治体を選んでいきます。一方で全国の他自治体も、雫石町の取り組みや議会の取り組みも含め視察に来町しています。学んできたことは一般質問や予算・決算特別委員会において取り上げ、町当局に対し提案しています。
15	他県に視察に行ったと思うが、計画は誰が決めるのか。また研修結果を町の行政に活かさない、遠くまで行って何をしているとなる。一方で他自治体が雫石に来ることもあるのは良いことだ。	HPには請願・陳情・その他文書のタイトル及び採択・不採択のみ掲載しています。これ以上の情報開示は個人情報も含まれるものもあることから控えているところです。採択になったものについては意見書を付して関係省庁などに提出しています。
16	請願・陳情について、採択、不採択、議員配布とあるが、議員配布は配るだけなのか。HPには項目だけ記載があるが内容を提示できないか。	審議途中の議決していない議案については事前に公表することは控えたいと考えています。
17	1年前にタブレットの取り扱いを始めた。議員に議案内容を聞くと、まだ決まってないから住民に知らせることはできないと言われる。議決が決まってからでないと公表できないのか。住民との協働として問題点を共有できないものか。	

IV議会として取り組むべき政策課題について

NO.	内 容	回 答
18	<p>安比エリアと雫石エリアの違いを考えた時、安比はインターナショナルの学校を誘致している。世界、全国から注目されている。そういうことを始めるのはとても大切。雫石でそういう良い真似はできないか。地元ではない人の考え方が入ることが大事。世界を知っている人からの意見を取り入れれば地元も変わってくる。</p> <p>安比エリアと雫石エリアの原点は別。行政の一職員が出稼ぎで冬場に父親が不在となり家族みんなでご飯を食べられるようにしようという発想から始まった。稼ぐ場所づくりを作るために安比開発が始まったもの。雫石は企業の利益優先。安比は雇用を増やして出稼ぎを減らそうという考え。良いところを真似できないかと考える。</p>	<p>バブル経済期の時代においては、全国各地でリゾートエリアの発展はさまざま、観光を基幹産業の一つとしている本町においては大きな恩恵を受けていることはご承知のことと思います。ご提言されている内容をこれからの観光・町勢発展に結びつけられるよう、議会として当局に対し働きかけ、また議会でも研究していくことが大事と考えます。貴重なご意見ありがとうございます。</p>
19	<p>町内にスキー場が3つあり、リフト券は提携しているが、経営者が違うからどこまで協力しあえるか。スキー場だけ見れば雫石は恵まれた環境。</p>	
20	<p>ホテルは日本人以外のツアー客多い。安比はスキー場の天候が荒れるといちご狩りを勧めている。滞在もいいけど、気分転換に勧めており、いいと思う。雫石もできれば客は喜ぶ。</p> <p>御所湖でカヌーに挑戦した。楽しいが危険は伴う。この体験は御所湖ならではのアドベンチャーみたいに取り込んではどうか。誘致したモンベルでも川下りはやっていないと思う。50年前にニュージーランドで経験した川下りが面白かった。雫石も雰囲気は似ている。田舎だけど雄大な町。</p>	
21	<p>議会報告会で議員のSNS活動についての質問あった。以前は自分の政治活動をチラシで配っていた。数名の現役議員もやっていたと思った。今はその活動が低調になってきていると考える。若手議員が情報発信をやってもらえばと思う。政務活動費を交付して、議員自ら活動報告するのはどうか。</p>	<p>自らの政治活動をお知らせする配布物などは議員個々の考えで発行・配布しており、議会として把握できかねるものです。SNSの活用はこれも議員個々の考えで活用する、しないになると考えますので強制はできないと考えます。なお議会事務局の協力を得て、町のXやFacebookアカウントに議会の情報を少しずつアップし始めています。</p> <p>政務活動費は現在「議員定数」を含め議会改革の一環として検討しているところです。</p>
22	<p>町に対してのことだが、計画の策定などで業務委託が多くなってきている。人員が減っているのは分かるが業務委託ばかりしては職員のレベルが下がるという危惧がある。</p>	<p>ご意見として頂戴します。</p>
23	<p>地域運営組織の助成を望む声があるが、金を出さないため自腹で活動を続けている状況。中間支援組織に交付されているが、実施する人に直接交付した方が効果的ではないか。</p>	<p>町の重点事業ではじめた事業と認識しております。当初は助成金なども交付されていたものです。地域防災の強化なども必要であることから、様々な課題・問題については、地域で解決できること、町として解決することを分けて事業が進んでいるものと捉えております。議会としてもいただいた意見を参考にし、引き続き町に対し問いかけてまいります。</p>

24	<p>町に対し提案をすると、出来ないことを羅列する。条例で決まっているなどでストップしてしまう。どう突破していくか分からない。職員は厳密な規定の中で働いているから仕方がないが、どう突破して行くか、いい案はないか。また、現状にあわない条例を変えてもらうにはどうしたらいいか。</p>	<p>町民からご意見を受けた内容の検討は、条例や規則に基づき判断する場合もあります。このためできないこともあることをご理解いただきたいです。町が条例などを改正するのは上位法の改正や、実情に合った条文に改める必要がある場合にも改正を行います。議会も独自に発議をして制定・改正・改廃を行うこともあります。議会及び町の条例改正についても当然議決が必要になります。</p>
25	<p>町から提案されたものを審議するのが普通と思うが、先回りして町に提言して政治でリードするようにはできないか。町に提言するシステムはあるか。</p> <p>町を活性化して金を稼いでいかないとインフラも維持できなくなる危険性ある。ルールもたくさんあると思うが活性化しないと衰退するのみ。町長にも頑張ってもらいたい。以前は議会でも反対、賛成討論が活発にあった。町有地14ヘクタールのケースなどがそうだ。町から強烈な方針が出てこないで討論もなくなるのか。事業を精査して費用対効果も考えて提言してはどうか。効率よくできる方法あるのではと思う。</p>	<p>町から上程された議案など以外に議会から提言を行う場合もあります。一般質問や予算・決算特別委員会においても提案をしています。</p> <p>討論については確かに以前より少ないと言えますが、議員個々の考えが大きく分かれるような議案がないことも事実です。町民がより暮らしやすいまちづくりに向けた議会活動をしていきたいと考えます。</p> <p>また、町の事業における施策評価も実施しており、委員会ごとに評価する施策事業を決め、独自に評価をしており、今後の事業推進も含め進捗状況などを客観的に確認し町長に対し提言を毎年行っております。</p>

V その他

NO.	内 容	回 答
26	モニターの募集の件。募集要項に元議員は不可となっているが、その要件は消してもいいと思う。	ご意見として頂戴します。
27	旧上長山小学校の和式トイレの改修はしないか。先日レストランに行ったときにトイレが和式で年配が利用するには大変。客として利用するのは年配が多いと思う。利用者としては重要なところと思う。	閉校した学校の跡地活用計画が決定していないこともあり、なかなか改修に結びつかない現状もあります。引き続き注視してまいります。 アウトドアメーカーとも協定を締結しており、民間独自のアイデアを町に対してアドバイスいただいています。憩いの場所として校舎裏の葛根田川水辺公園は多くの方にも利用されています。また、町場園地も休日には多くの家族連れが訪れ賑わいを見せています。
28	旧上長山小学校の今後の活用方法は。	旧校舎の活用方法を含め様々な視点から町に何が必要なのか議会としても注目しているところです。
29	川を利用して遊ぶのがいい。良いものがあるのに役所の縦割りがどうしてもネック。町場園地もいいところで岩手山がとても綺麗だ。	何が必要なのか議会としても注目しているところです。
30	国道を走ってきた。以前も提案したが、周りのスキなどの草や雑草、綺麗に刈り取って岩手山がよく見えるようにしては。国管轄だと思うが。国がやれないのなら住民がボランティアでやるように町が仲立ちしてくれればいいと思う。	国道の草刈りなどは国から事業者へ業務委託されているものです。町道などにおいては各地域で独自に清掃活動を実施しており、地域で町の景観を守っていただいています。国道でのボランティアによる草刈りなどについては事故補償などを考えると町が仲立ちして進めるのは難しいと考えます。